

しあわせ信州創造プラン2.0 北信地域計画 概要

雪とともに育む 豊かな故郷 北信州

めざす姿

全国有数の豪雪地帯にあって、雪に強い生活基盤が整備され、年齢を重ねても安心・安全で健康な生活を送るとともに、地域住民が支え合い、子どもたちの声が響きわたる中で、絆と活気に満ちた故郷暮らしが実現している。

雪や温泉、信越トレイル、スノーモンキーなどの恵まれた観光資源を基に、「世界水準の山岳高原観光地」「日本の原風景と文化の『故郷』」が形成されている。

米、果物、きのこなどの一大産地として発展するとともに、地元農産物の地消地産が進んでいる。

地域重点政策

若者定着のための雪に強い故郷暮らしプロジェクト

- ①子育ての支援と子ども・若者の郷土愛の醸成
- ②若者定着のための就労の場の拡大
- ③ライフスタイルの発信と移住・交流・まち(むら)づくりの推進
- ④雪に負けない、雪を楽しむ暮らしづくり
- ⑤雪国の生活を支える公共交通・医療等の生活基盤の整備



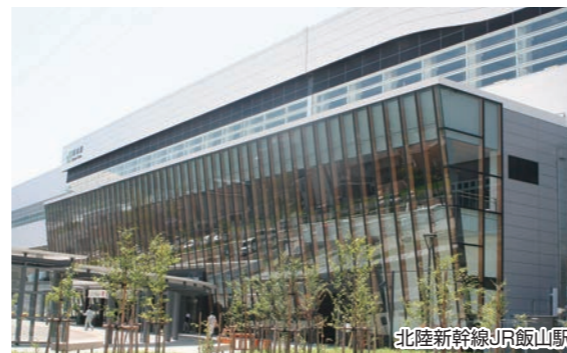
「信越自然郷」等通年型広域観光推進プロジェクト

- ①観光地づくりと圏域・県域を越えた広域観光の促進
- ②稼げる通年型の観光地域づくり
- ③必要な観光人材の確保
- ④観光振興のための環境整備
- ⑤交通拠点と観光地を結ぶ二次交通の整備



「米・果物・きのこ」産地パワーアッププロジェクト

- ①強みのある農産物の生産・販売
- ②地元農産物の魅力の共有・発信と地消地産の推進
- ③農業後継者等担い手の確保・育成
- ④地域資源を活用した食品の開発とエネルギー利用の促進
- ⑤雪中貯蔵・雪室熟成の研究



達成目標

社会増減	△456人(2017年) → △171人(2022年)
移住者数	142人(2016年度) → 198人(2022年度)
創業・立地件数	16件(2012年～2016年累計) → 増加(2018年～2022年累計)
除雪作業中の事故件数	23件(2016年度) → 減少(2022年度)

観光地延利用者数	691万人(2016年) → 719万人(2022年)
春季から秋季の観光地利用者数	383万人(2016年) → 400万人(2022年)
冬季の観光地利用者数	308万人(2016年) → 319万人(2022年)
観光消費額	361億円(2016年) → 376億円(2022年)

果樹戦略品種等の栽培面積	253ha(2016年度) → 460ha(2022年度)
良食味米、業務用米等の栽培面積	535ha(2016年度) → 650ha(2022年度)

SDGs



※SDGs…2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)